

BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。  
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

## ChatGPT株に投資すべきか？ 2024年株価予測

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/financial-investment/should-you-invest-in-chatgpt-stock-2024-stock-price-prediction-bjx>



オープンエイのAIチャットボットは世界を席卷し、わずか2ヶ月で1億人以上のユーザーを魅了し、バイラルと業界のトレンドを作り出しました。世界中の投資家は、AIの計り知れない可能性を認識し、この新たなトレンドを利用しようと躍起になっており、ChatGPTと同様のAI駆動型チャットボットの大成功から利益を得ようとしています。しかし、オープンAIは依然として非上場企業であるため、ChatGPT株式への直接投資は不可能だ。しかし、ChatGPTやより広範なAIセクターに投資する間接的な方法があります。この記事では、ChatGPT、OpenAI、そしてあなたがAIの波の力を利用し、あなたのリターンを最大化することを可能にする様々な投資手段を掘り下げます。時代を先取りし、この革新的なテクノロジーがもたらすチャンスをつかむために、ぜひご一読ください。

- [ChatGPTとOpenAIとは？](#)
- [オープンエイの株式に投資できますか？](#)

- [ラーズ・ランゲージ・モデルはどのように進化し、テクノロジーを形成しているのか？](#)
- [仮想通貨は市場と関連銘柄にどう影響するか？](#)
- [ChatGPT株の代替：2024年に注目すべきトップAI銘柄](#)
- [よくあるご質問](#)

## ChatGPTとOpenAIとは？

ChatGPTは、OpenAIが作成したチャットボットで、機械学習を活用して本物そっくりの会話を行います。イーロン・マスクやサム・アルトマンのような先見者たちによって2015年に設立されて以来、OpenAIは人類にとって有益かつ安全な方法で人工知能を発展させる最前線にいる。同社はAI研究で数々のブレークスルーを達成し、業界のリーダーとしての地位を固めてきた。しかし、マスクは2018年、テスラ、スペースX、そして他のベンチャーにより多くの関心を注ぐため、このプロジェクトと決別した。マイクロソフトは2019年に参入し、10億ドルを投じてOpenAIの最先端AIモデルの独占ライセンスを獲得した。

ChatGPTのIPOの可能性は、テック企業に複雑な影響を与える可能性があることは注目に値する。一方では、事業拡大のための資金調達の機会を提供し、他方では、目先の財務目標を達成するための投資家からの圧力とともに、世間や規制当局の監視の目をより厳しくする可能性がある。OpenAIは2019年にGPT-1、2020年初頭にGPT-2、そして2021年半ばに、これまでで最も印象的で強力な大規模言語モデルであるGPT-3をリリースした。しかし、OpenAIが広く認知されるようになったのは、2022年11月30日にGPT-3を搭載したAIベースのチャットボット「ChatGPT」を無料のベータテストで公開してからだ。ChatGPTは瞬く間に技術センセーションを巻き起こし、2023年1月中旬までに1億人以上のユーザーを集めた。その人気のため、サーバーはしばしば過負荷になる。これに対処するため、2023年1月末、ChatGPTは月額20米ドルのプレミアムサービスChatGPT Plusを導入しました。このプレミアムサービスは、より速いレスポンスタイムと一定のサービス可用性を保証し、シームレスなユーザー体験を提供します。ChatGPTの一晩の成功は、AI主導のテクノロジーに対する需要の高まりを浮き彫りにし、人工知能の分野における重要なマイルストーンとなりました。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

## OpenAIの株式に投資できるか？

残念ながら、OpenAIは現在非公開企業であるため、直接投資することはできない。しかし、OpenAIの成功やその人気のあるChatGPTを利用したいと熱望する投資家は、別の投資手段を模索することができる。

そのような機会の一つがマイクロソフト株への投資である。マイクロソフトがChatGPTの独占ライセンスを獲得し、OfficeスイートやMicrosoft 365 Copilot、Skypeなどの製品に統合していることを考えると、この戦略によって投資家は間接的にChatGPTの成長の恩恵を享受することができる。また、他のAI関連銘柄を検討することも有効な選択肢となる。アルファベット（グーグル）やエヌビディアなど、AI

分野で著名なプレイヤーは大きな可能性を秘めており、投資する価値がある。今後、オープンAIがChatGPT IPOに踏み切った場合、興味のある投資家は将来、同社に間接的に投資するチャンスがあるかもしれない。このルートは、OpenAI自体に直接投資することなく、成長するAI市場に参入する方法を提供する。

## ラージ・ランゲージ・モデルはどのように進化し、テクノロジーを形成しているのか？

GPT-4のような大規模言語モデル（LLMs）は、人工知能のパラダイムシフトに火をつけた。近未来を想像すると、GPT-5 がリアルタイムのデータ集約的な強豪として登場する見込みがますます明らかになっています。この次世代モデルは、膨大なデータセットを処理し、即座に応答を返すことを約束し、リアルタイムの意思決定支援や超パーソナライズされたデジタル支援に最適な位置づけとなる。これらのモデルは、単に人間のように会話するだけでなく、多様な領域にわたる複雑な課題を解決することに優れている。このテクノロジーの飛躍は、エキサイティングな新事業への道を開く。パーソナライズされた学習コンパニオンが教育に革命を起こしたり、自動化されながら深く調整された対話によって顧客サービス体験が向上したりすることを想像してみしてほしい。さらに、コンテンツ作成プラットフォームは、かつては人間のクリエイターの独占領域であった自動化されたプレミアム・コンテンツを提供することができるため、大きな利益を得ることができる。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

## 仮想通貨は市場と関連銘柄にどう影響するか？

ChatGPTをはじめとするLLMsの人気は、市場に顕著な影響を与えている。OpenAIの主要な投資家であるマイクロソフトは、Microsoft 365やAzureのような同社のサービスを向上させるためにこの技術を活用しており、それによって同社の市場スタンスを強化し、株価にプラスの影響を与えている。さらに、これらのモデルのトレーニングや操作には重いコンピューティング・パワーが要求されるため、NvidiaやAMDを含むハイパフォーマンス・コンピューティングやストレージ・ソリューションのサプライヤーは、需要の急増を目の当たりにしている。このため、GPUのような特殊なハードウェアを製造する企業は、このトレンドを利用する絶好のポジションにある。さらに、投資家はアマゾンAWSやグーグル・クラウドなどのクラウド・インフラ・プロバイダーの進歩に警戒する必要がある。これらはAIアプリケーションのホスティングと実行の基盤として頻繁に機能し、AI関連銘柄の成長を促進する可能性があるからだ。

スケーラブルで効率的なクラウドサービスを提供する彼らの能力は、AIのバリューチェーンにおける重要なリンクとして位置付けられ、それによって市場や関連シェアに大きな影響を与えている。

# ChatGPT株の代替：2024年に注目すべきトップAI株

ここでは、ChatGPTに連動する可能性のある2つの銘柄について簡単に説明する：アルファベット（グーグル）とエヌビディアだ。これらの企業はAI分野のリーダーであり、人工知能の長期的なトレンドに資本参加する態勢を整えている。これらのAI銘柄に投資する価値がある理由を掘り下げ、先駆的なAIチャットボット開発との密接な関係や、急速に進化する人工知能分野での成長の計り知れない可能性を探ります。ChatGPTへの直接投資に代わるエキサイティングな選択肢を提供する、2024年のトップAI銘柄をお見逃しなく。

## アルファベット（グーグル）

カリフォルニア州マウンテンビューに本社を置くアルファベットは、NASDAQ証券取引所に上場するハイテク大手で、時価総額は1兆米ドルを超える。同社はグーグル、ユーチューブ、ウェイモ（自律走行）、ベリリー（ヘルスケア）など複数の部門で構成されている。15年以上にわたり90%以上の市場シェアを誇る検索エンジンの優位性で有名なグーグルは、アルファベットの一部分に過ぎない。

最近、アルファベットのChatGPT IPOは、210億米ドルを超える資金を調達し、歴史的な節目を迎えた。この大幅な資金増強は、同社のAIへの重点投資を反映したもので、AI技術のリーダーとしての位置づけを確立した。アルファベットは、グーグルアシスタント、グーグル翻訳、グーグルフォト、グーグルクラウドAIなど、幅広いAI製品とサービスを提供している。特筆すべきは、AI部門「グーグルX」の一環として、同社は2017年にChatGPTのバックボーンを形成する「トランスフォーマー」アプローチを発明し、AIに革命をもたらしたことだ。最先端のAI技術へのエクスポージャーを求める投資家は、アルファベットを株式市場の有力な選択肢として検討すべきである。

アルファベットは最近、ChatGPTの競合を装った新しいチャットボット“Bard”を発表した。このAIを搭載したチャットボットは、詩や歌を作る能力を誇り、その創造性を発揮する。現在、Bardはベータテストの段階で、カナダと米国の一部のユーザーに無料で提供されている。この革新的なチャットボットの世界展開は2023年末を予定しており、アルファベットの事業拡大における重要なマイルストーンとなる。

近年、同社は目覚ましい成長率を示しており、将来的な進歩に大きな可能性を秘めている。その多様なAI製品とサービスは、ヘルスケア、小売、金融、自動車など、さまざまな業界への事業拡大を可能にする。さらに、2022年の株式市場は現在弱気相場となっているため、アルファベットの株価は久しぶりに魅力的な評価となっており、投資家にとって検討の好機となっている。

## エヌビディア

エヌビディア・コーポレーションは、時価総額5,000億円を超える米国の一流ハイテク企業で、グラフィック・プロセッシング・ユニット（GPU）と人工知能（AI）技術の開発におけるパイオニアである。カリフォルニア州サンタクララに本社を置き、30,000人以上の従業員を抱えるエヌビディアは、1993年の設立以来、技術進歩の最前線に立ってきた。同社は、ゲーム、プロフェッショナル・ビジュアライゼーション、データセンター、自動車用アプリケーションなど、さまざまな業界に電力を供給する高性能GPUを製造しており、その名声は高い。

近年、NvidiaはAIに多大な投資を行っており、AI技術のトップ・プロバイダーの1つとして頭角を現している。同社のGPUは、AIアプリケーションに必要な複雑な計算を処理するのに長けており、NVIDIA DGXシステム、Claraプラットフォーム、Metropolisプラットフォームなどの包括的なAI製品群によって補完されている。投資家がChatGPT銘柄に代わる銘柄を探中、エヌビディアは2024年最高のAI銘柄の最有力候補として際立っている。

ChatGPT株の代替：2024年に向けて最高のAI銘柄を発見しよう。エヌビディアは、その株価とともに近年目覚ましい成長を遂げており、将来的な可能性を大いに示している。多様なAI製品ポートフォリオを持つエヌビディアは、自動車、ヘルスケア、小売、金融などの複数のセクターで拡大する態勢を整えており、人工知能関連銘柄の中でトップ候補となっている。ChatGPT銘柄に代わる銘柄を探している投資家は、強力なAIの足跡と業界の多様性を持つエヌビディアを検討すべきである。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

## よくあるご質問

### OpenAI Stockはどこかの証券取引所に上場していますか？

オープンエーアイは非上場企業として、どの証券取引所にも上場していない。オープンエイの画期的なAIチャットボットであるChatGPTが世界を席卷している一方で、技術そのものへの直接的な投資機会はまだ見つかっていない。しかし、投資家は、チャットボットの独占ライセンス権を保有し、その広範な人気から利益を得ているマイクロソフトに投資することで、間接的にChatGPTの台頭を利用することができる。

### ChatGPTで利益を得る銘柄は？

ChatGPTは大衆向けAIアプリの出現を示し、1億人以上のユーザーがAIチャットボットに関与した。このような広範な採用がChatGPTブームに拍車をかけ、すべてのAI銘柄にプラスの影響を与えている。特に、マイクロソフト、アルファベット（グーグル）、エヌビディアの各銘柄は、AIの波に乗り、現在の市場環境で魅力的な投資機会を提供するトップピックとして際立っている。